

製品名: 癌胎児性抗原 CEA (2A8) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03340**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	-

抗原情報

遺伝子名	CEACAM5
別名	CEACAM5; CEA; Carcinoembryonic antigen-related cell adhesion molecule 5; Carcinoembryonic antigen; CEA; Meconium antigen 100; CD66e
遺伝子 ID	1048
SwissProt ID	P06731
免疫原	ヒト癌胎児性抗原 CEA の組み換えタンパク質

背景

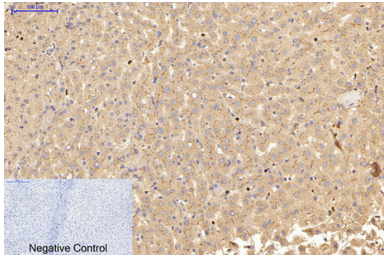
癌胎児性抗原 (CEA) は、CD66e または CEACAM5 としても知られる、180~200 kDa の細胞表面糖タンパク質で、腸癌やその他の

腫瘍において発現が上昇しています。CEAは細胞接着を媒介しますが、その生物学的活性についてはほとんど解明されていません。

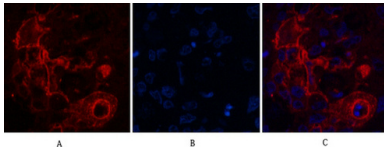
研究分野

タグとセルマーカー

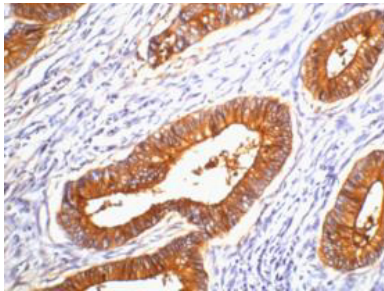
画像データ



癌胎児性抗原 CEA (2A8) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓組織の免疫組織化学分析。抗原回復には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



癌胎児性抗原 CEA (2A8) 抗体 (赤) および DAPI (青) を使用した、ヒト肺癌組織中の癌胎児性抗原 CEA (2A8) の免疫蛍光分析。



癌胎児性抗原 CEA (2A8) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用した。